

# 第132回 国際母子カンファレンス

日時：2017年6月14日（水） 18:00 ～ 20:00

場所：国立国際医療研究センター 教育研修棟 5F 大会議室

【マンスリーレポート】 18:00 ～ 18:15

【講演】 18:15 ～ 19:15

## 臍帯を繋いだままで新生児蘇生

### —胎盤循環から肺循環へのスムーズな移行—

東海大学医学部付属病院周産期母子医療センター NICU・GCU 医長  
東海大学医学部専門診療学系小児科学教授

鈴木 啓二 先生

ヒト以外の哺乳類は当然臍帯結紮などしません。  
ヒトにおいても昔は臍帯結紮や切断は胎盤が娩出されて臍帯血流が停止してからゆっくり行われてきました。ところがいつの間にか胎児娩出後の早急な臍帯結紮が‘当たり前’となっています。しかし臍帯クランプによる急激な血流遮断は移行期の児の循環に急なインパクトとなる医療的行為です。ではどうすれば早産や帝王切開などの場合にも臍帯早期結紮を避けた蘇生ができるのでしょうか？  
臍帯早期結紮を避けた新生児蘇生について、周産期医療に携わるスタッフの理解が深まるきっかけになれば幸いです。

【ディスカッション】 19:15 ～



どなたでも参加できます。  
奮ってご参加ください。

主催：国際母子タスクフォース（協賛：医薬会）

# 【院内案内図】

教育研修棟の 5F へお越してください

